

アジア政経学会 2026 年度第 1 回理事会 議事録

1. 日時 2026 年 5 月 31 日より 6 月 3 日
2. 会場 メール及び配付資料による
3. 理事・監事総数 理事 24 名、監事 2 名
4. 出席者 26 名（青木、阿古、家永、石塚、磯崎、林、大庭、梶谷、加茂、川上、川島、日下、倉田、小嶋、杉浦、助川、鈴木絢女、鈴木隆、中西、中溝、福田、本名、増原、三重野（敬称略、以上理事）、遠藤、中岡（敬称略、以上監事）
5. 議長 川島真理事長
6. 議事

以下の審議事項及び報告事項に関して、川島理事長は 2026 年度第 1 回理事会を開催することを決定し、川島理事長がメール及び配付資料を用いて各審議事項の審議を各理事（審議事項 7 については特別の利害関係を有する中溝理事を除く）に諮った。議事録署名人には遠藤監事、中岡監事が指名され、両監事はこれを承認した。

(審議事項)

1. アジア政経学会優秀論文賞

優秀論文賞選考委員会担当理事の中溝理事より、同選考委員会の審議の結果として、以下の論文が第 23 回アジア政経学会優秀論文賞として推薦され、各理事に本提案に対する審議と承認が求められた。

- ・和田知樹「中国国民党政権における『以党治国』の逸脱—第 4 次『囲剿』作戦期の党政関係を中心として」『アジア研究』第 71 巻 1-2 号、20-37 頁。

加えて、故清水前理事長の寄付が若手研究者の奨励を目的としていることについて財務担当理事の鈴木絢女理事より説明がなされたうえで、受賞者の授賞式出席のための旅費（上限 3 万円）を当該寄付より支給することについて、審議と承認が求められた。

2. 名誉会員への推挙

小嶋理事より、國分良成会員を名誉会員に推挙する旨について提案がなされ、各理事に本提案に対する審議と承認が求められた。

3. アジア政経学会維持会員制度細則

川島理事長より、定款に規定する「維持会員」の制度について、その細則を定める提案がなされ、各理事に本提案に対する審議と承認が求められた。

4.アジア政経学会会費に関する会員規則

川島理事長より、定款第 34 条及び第 35 条に規定する会員規則のうち会費規則に関する部分について、6 月 13 日開催予定の評議員会に提案する手続きをとることに関して、各理事に本提案に対する審議と承認が求められた。

5.投稿規程の改正

編集委員会の日下編集長（理事）より、博士論文の自己剽窃を防ぐ観点から日本語の投稿規程を改正する旨について提案がなされるとともに、経費節約と頁数削減の観点から規定字数の削減を行うために、英語の投稿規程を改正する旨について提案がなされ、各理事に本提案に対する審議と承認が求められた。

6.特集号公募制度運用フロー修正案

編集委員会より、特集号の締切厳格化を図る観点から、特集号公募制度運用フローを修正する旨の提案がなされ、各理事に本提案に対する審議と承認が求められた。

7.特集企画構想案の審議

編集委員会より、中溝会員による特集企画構想案について、特別の利害関係を有する中溝理事を除く各理事に審議と承認が求められた。併せて、審議事項 5 及び 6 と関連して、中溝会員に対して依頼する事項について、特別の利害関係を有する中溝理事を除く各理事に審議と承認が求められた。

(報告事項)

1.樫山セミナーについて

川上理事、中西理事より、第 10 回樫山セミナーの採択及びセミナー実施内容について報告がなされた。

2.定例研究会について

小嶋理事、助川理事より、2025 年度定例研究会の実施結果と 26 年度の予定について報告がなされた。

審議事項 1 から 7 に関する審議の結果、全理事（審議事項 7 については特別の利害関係を有する中溝理事を除く）から各議案の内容に対して賛成の意見が述べられた。川島理事長が 6 月 3 日、全理事（審議事項 7 については特別の利害関係を有する中溝理事を除く）からの賛同を得て、かつ全監事からの異議がないことを確認し、定款第 32 条第 2 項に基づき、

上記の各議案について賛同を得て決議がなされたものとみなし、審議を終了した。

以上

令和8年6月3日

一般財団法人アジア政経学会 2026 年度第 1 回理事会

議長（理事長）

川島 真



議事録署名人（監事）

遠藤 環



議事録署名人（監事）

中岡 まり

